

Introduction of Architecture

2 units (selection)

Part-time Lecturer

Target) 建築一般の知識を学ぶことにより、建築学への理解、並びに実践的な内容に対する理解を深める。特に建築構造に関する基礎的知識を習得する。

Outline) 建築物はどのようなしくみで成り立っているのか、建築物の基本的機能とそれらを実現する各部分の造り方を学ぶ。建築物を造りあげるために、具体的にどのような材料を用い、どのような構法が採用されているかを平易に解説する。

Keyword) 建築構法, 建築構造

Relational Lecture) “**Structural Design**”(0.5)

Requirement) なし

Notice) 建築の物的構成についての入門的講義であり、後続の全ての専門科目と深い関わりを持つ。2年次に履修すること。

Goal) 建築物の一般的な構造・材料・施工法・構法が理解できるようになることを目的とする。前半は、建築物の構造形式・荷重と外力・構造材料と構法・構造形式の変遷等についてその概要を理解する。後半では、現在一般的に用いられている構造種類(木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造など)ごとに、様々な部位の名称とその役割や特徴を具体的に理解する。

Schedule)

1. 建築学とは(ガイダンス)
2. 構造と構法(構法概説/4回)
3. 架構と構造材料と構法
4. 建築構造の歴史1
5. 建築構造の歴史2
6. 木質構造の種類と分類(木質構造/4回)
7. 木造住宅の色々
8. 各部構法1:基礎・土台・軸部
9. 各部構法2:壁・小屋組・床
10. 鉄骨造の概要1(鉄骨造/2回)
11. 鉄骨造の概要2
12. 鉄筋コンクリート造の概要1(鉄筋コンクリート造/2回)
13. 鉄筋コンクリート造の概要2
14. SRC造・PS造・組積造(その他構造/1回)
15. 学期末試験

Evaluation Criteria) 中間試験および学期末試験と授業への参加内容を評価し、

評点が60%以上を合格とする。

Jabee Criteria) 【成績評価】と同一である。

Relation to Goal) 本科目は本学科の教育目標の3(3)に、100%対応する。

Textbook) 建築構法{第5版} 監修:内田祥哉 市谷出版社, 構造用教材 改定1995年版 日本建築学会 丸善

Reference)

- ◇ 建物はどのように働いているか エドワード・アレン 鹿島出版会
- ◇ 木造建築を見直す 坂本功 岩波新書
- ◇ 建築ビジュアル辞典(彰国社)

Webpage) <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/N0020>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215846>

Student) Able to be taken by student of other department and faculty

Contact)

⇒